



7月の園だより

令和8年7月1日
目黒区立田道保育園園長

園庭では、お米を育てるために5歳児クラスが稲の水やりをしたり、各クラスがピーマンやトマト、ナスやキュウリなど野菜の苗に水やりを行ったりしています。先月はピーマンの育ちが良く、1～4歳児クラスが収穫したピーマンを昼食時に栄養士に炒めてもらいました。1、2歳児も、フライパンから聞こえるジュッという音や香ばしい香りに「何かな…」という真剣なまなざしを見せながら、耳や目を傾け五感で吸収している様子が見られます。「いつものピーマンは嫌いだけどね、これは最高に美味しいよ」と、食器に盛られたピーマンをパクパク食べる4歳児の姿には、見ているこちらまで食べている気分になれるほど魅力いっぱいに美味しさを伝えてくれていました。世話をする中で葉や実の成長に関心を持ったり、収穫を通して食べることの楽しさや自ら進んで食べようとする力が育まれたりするよう、今後も食育活動に取り組んでいきたいと思います。

6月は幼児クラスは相撲月間でした。相手のまわしを持ち押して勝負をする以外に、尻と尻で勝負をする尻相撲もあります。「負けるからやだ。やりたくない」と拒む子も、複数で取り組む尻相撲ならやってみように参加していました。「強くなるから、朝ご飯もちゃんと食べたよ」という声も多く聞かれ、がんばる気持ちや負けた悔しさ、友達からもらう「がんばれ」の声援などを通して、体作りの一環と共に気持ちのたくましさにもつながっていたように思います。今月は、水遊びやプール活動も始まります。全身で水との触れ合いを楽しみながら夏ならではの遊びを満喫できるように過ごしていきます。



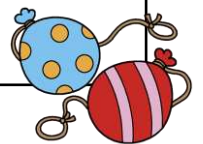
★★ 今月の予定 ★★

プール開き

なつまつり（3・4・5歳）

七夕集会（3・4・5歳）

※中旬 身体計測・避難訓練



～乳児クラスのつぶやき・子どもとのやりとり～

あひる組（1歳児クラス）

☆保育士の顔をじっと見つめ目の下を指さして「まっくろ」。

保育士の目の下のクマ、よく見ていますね…(加齢です)

☆散歩中にハトを見つけて、興奮した様子で指さしています。保育士が「はとぼっぼだね」と言うと、言葉を繰り返して「ぱっぼっぼー」

パイナップルみたいなハトでした。

らっこ組（2歳児クラス）

☆散歩中、ハトの姿は見えないけれど、鳴き声だけが聞こえてきた時のことです。

「ぼっぼ（ハト）おさんぼいったのかな。」

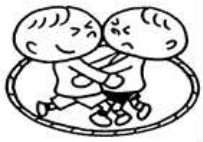
「ぼっぼ、ごはんたべてるんじゃない？」とかわいいやりとりをしていました。

☆Aさん「アボカドのごはんできたよー。」

Bさん「カボカボおいしそう～。」

～6月場所開幕 相撲の取り組みの様子～

田道保育園では平成2年から異年齢保育の活動の一つとして相撲を始めています。また6月と2月は天候などで戸外に出られることが少ない時期でもあるため、体作りの一環としても相撲の取り組みを行っています。初めて参加した3歳児クラスも、日ごとに意欲を見せながら楽しんでいました。



「やったぁ勝った」 ペんぎんぐみ（3歳児クラス）

初めてホールで相撲の取り組みをしました。開幕式では初めてのことで少し不安を感じ、参加をためらう子もいましたが、日々のクラスの相撲の取り組みでは全員が参加できるようになりました。取り組みが始まると、子どもたちは足と腕を組み、力士のような強そうな表情で自分の名前が呼ばれるのを待ちます。土俵に上がると片手を土俵につけ、もう片方の手を天井に向かって高く突き上げて堂々とポーズを決め、対戦相手の保育士と向かい合い気合は十分です。「はっけよい、のこった」の合図で押し合い、相手が土俵の外に出るまで一生懸命取り組みます。勝った時は満面の笑みを見せ喜びがあらわれていました。「まだ2回しかやってない」と何度も挑戦する姿も見られました。相撲を通して、身体を動かす楽しさや最後まで頑張る気持ちを感じながら取り組んだぺんぎん部屋でした。

「勝っても負けても」 いるかぐみ（4歳児クラス）

開幕ではみんなの前に出ることに恥ずかしがる様子が見られましたが、クラスでのお相撲となると緊張せずに楽しむ姿があります。まずは大人との対戦です。「〇〇山」と呼ばれると力を合わせる仲間の名前を呼び、戦う大人を指名して対戦です。大人に負けてしまうと「はぁ。」と友達と顔を見合わせ「次は頑張るぞ。」と言ったり「やっぱり強いな」とつぶやいたりする姿も見られました。友達同士の対戦では、負けてしまうと悔しくて涙を見せる姿もあります。「いい取り組みだった。どちらも頑張っていたよ」と声をかけられ、うなづきながら気持ちを切り替えていました。次の日になると再びやる気を見せて向かっていき、しっかりとまわしをもって力いっぱい押す表情がとても素敵でした。勝つことだけではなく、悔しい気持ちを乗り越えたり、お相撲座りをしながら、友達を応援したりと気持ちの面でもぐっと大きくなった相撲月間でした。



「挑戦と応援が広がる相撲」くじらぐみ（5歳児クラス）

くじら部屋の相撲が盛り上がる中、子どもたちは勝敗だけでなく、挑戦する気持ちや友達を思いやる心も育っています。一度負けても「次は負けないぞ。」と再び挑戦し、見事にリベンジを果たして喜ぶ姿も見られます。また、「強くなるためにたくさん食べる！」と食事への意欲も高まり、「お肉を食べたから筋肉が固くなったよ」と嬉しそうに腕を見せてくれることもあります。取り組みでは、不安そうな友達を「頑張って」と励ましたり、「やればできるじゃん」「悔しかったね」と気持ちに寄り添う言葉をかけたりする姿も見られます。さらに「前を向いてまっすぐ押すといいよ」と、自分の経験をもとにアドバイスをすることで、仲間同士で刺激を受けながら力を伸ばしています。相撲を通して、心も体もたくましく成長しています。